

高い確率で起こると予測される大地震、その時の備えに

あなたと家族の命を守る 耐震対策

命の危険

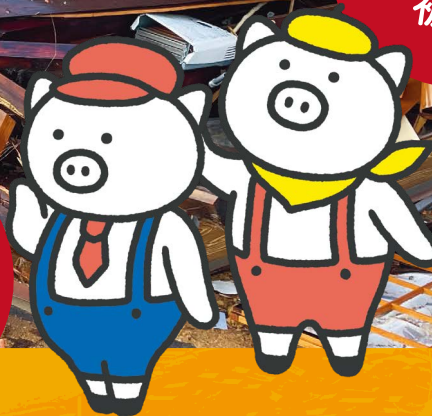
能登半島地震 死因の半数以上*が家屋倒壊によるもの

※災害関連死を除く 令和7年版防災白書より



近隣
住民への
被害

復旧の
多大な
労力



近い将来、高い確率で発生すると予測されている大規模地震。

家屋の耐震化は、命を守る有効な手段です。

住宅の倒壊は、自分や家族の命を危険にさらし

さらには近隣家屋や、近隣住民にも被害を与える恐れがあります。

命が助かった場合でも、倒壊したがれきの処理や

復旧工事に多大な労力が必要となります。

今すぐ、耐震化を進めましょう。



国土交通省



耐震改修の必要性とは？

地震による死因の多くは、建物の倒壊によるものです。

地震の多い日本では、いつどこで大きな地震が起きてもおかしくありません。

地震に備えて安心して住める建物にしておくことが大切です。まずは、簡単なセルフチェックをしてみましょう。

お住まいの建物が安全かどうか、専門家による耐震診断を受けることが必要です。



専門家による耐震診断とは？

専門の調査員が建物の構造や基礎などを調べ、現在の耐震基準と比較して、建物がどの程度地震に強いかを数値で評価します。診断結果に基づき、必要であれば耐震改修工事を検討しましょう。

セルフチェックはこちらから

日本建築防災協会「誰でもできるわが家の耐震診断」

質問に答えていくことでお住まいの建物について、地震に対する強さ、弱さのポイントがどこにあるかなどがわかるようになっています。



改修にはどんな方法があるの？

壁を強くする

筋かいや構造用合板で補強された壁を増やしましょう。また、壁の量を東西南北に均等に配置することも大切です。

家を軽くする

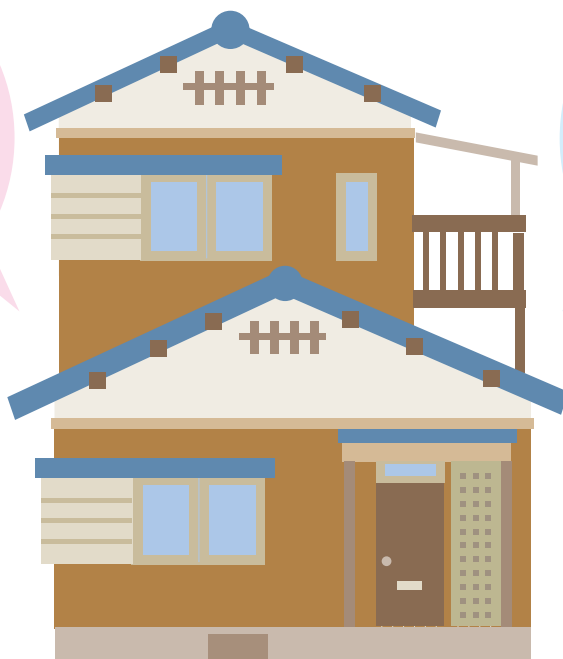
屋根や外壁を軽くすることで、建物に作用する地震の力が減るので、大地震時に壊れにくくなります。

接合部を強くする

土台・柱・筋かい・はりなどの接合部は、専用の金物などを使って、それぞれの部材が一体となるよう緊結しましょう。

基礎を強くする

基礎にひび割れがある場合は、原因を除去した上で補強しましょう。



耐震診断・改修、補助金の相談は地方公共団体の窓口へ

住宅リフォーム支援制度検索サイトはこちら



国や地方公共団体では、地震から大切な命と地域を守るために、建物の耐震化を推進しています。耐震診断や改修については各地方公共団体に相談窓口があり、手順や業者の選定などのアドバイスを受けることができます。

まずは、住宅リフォーム推進協議会の住宅リフォーム支援制度検索サイトからお住まいの地域と内容を検索してください。

最新の情報や詳細についてはお住まいの地域の相談窓口にお問い合わせください。

